

新入学児童

指定学用品購入の実態調査

各校で値段がまちまち

富士市消費者運動連絡会（石丸恵美子代表）は、ことし、市内新入学児童の学用品購入実態を調査していましたが、このほどまとまったので5月23日市庁舎で教育委員会関係者や小学校長、富士地区学生協業者とこの問題について話し合いました。

最高と最低では4,100円のひらき

調査は、市内18小学校を対象に行い、この結果、学校側で指定する一括購入の学用品金額は最高6,100円、最低2,000円で、4,100円の格差があることがわかりました。この購入費用のバラツキについては、学校側では、抽象的な説明しか聞かれなかったが、同連絡会は今後、学校側から一括購入の学用品など自由選択できるものはハッキリ区別させ、適正な学用品の購入運動をさらに強く押しすすめていくことになりました。



消費者運動連絡会がまとめた購入点数は各小学校まちまちでしたが、一番金額の高いのが吉永一小の6,100円（23点）、最低が今泉小、吉原小、田子浦小等で2,000円から2,100円（7点前後）でした。

また、18小学校の平均購入金額は3,121円（平均点数約13点）でした。

東海地震とその防災対策 ①

日頃から「地震防災」の心構えを

すごいエネルギー

わが国は、世界有数の地震国です。これまで、何度となく地震に見舞われ、そのたびにかけがえのない人の命や財産が奪われてきました。近くは、昨年起きた伊豆大島近海地震（1月）、宮城県沖地震（6月）が、そのエネルギーのものすごさを見せつけ、地震対策に新たな問題も提起しました。

予想される「東海地震」のエネルギーはマグニチュード（略してM）8以上といわれ、その破壊力はすさまじいものだといわれています。今からおよそ120年前に、この地震とほぼ同じ規模の地震がこの地方を襲いました。これが「安政東海地震」です。このとき死者600人、全半壊家屋8,300戸、流失家屋600戸という被害を出しています。

また、関東大地震（大正12年9月1日）では、火災につつまれ約10万人の尊い命がなくなりました。



くりかえさない心がまえ

私たちは、東海地震でこの悲しい記録をぬりかえてはならないのです。それには、日ごろから「地震防災」に対する心がまえをもち、あらゆる戦略を講じて、この大敵に立ち向うことではないでしょうか。

今回から号を追って「東海地震とその防災対策」について解説し市民のみなさんの地震防災の手引きとなればしあわせです。

表紙のことば

あなたのためです交通安全…春の交通安全運動が5月11日から20日まで盛りたくさんの行事を織込んで行われました。

第1日目の11日は朝7時から渡辺市長ら交通安全協会の人たちが、国鉄富士駅前および静岡銀行吉原支店前の2カ所で交通安全のキャンペーンを行い、運転者や歩行者にチラシ、花の種などをプレゼントしながら交通安全を訴えました。

「ふじ・あしたかの自然への招待」は今回休みました。